

三原村下長谷地区における交流拠点施設の提案

高知工科大学 システム工学群

1150075 杉内美友

1.背景

私の祖父母が暮らす三原村は、山々に囲まれた自然豊かな村である。四万十市、宿毛市、土佐清水市が隣接しており、隣の市への道路は整備されている方だと言える。

しかし、人口は年々減少し、高齢化率は日本の平均を上回っている。(図 1, 2)

そのため、村内での衣食品などを扱う店舗は減少し、村内の主な買い物拠点である「みはらのじまんや」や隣接する市にあるスーパーなどに車で買い物に行く状態である。また、村役場がある地区に公民館や学校などの人が集まる施設が集中しているため、車で移動が必要となる地区もある。

その結果、地区によっては車で移動が主となり、地区内での交流は限られた人とのみになっていると感じた。

このことより、集会所などの施設がない地区に地域交流拠点施設を提案する。

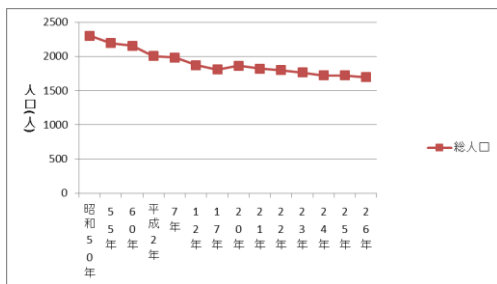


図 1 三原村の人口推移

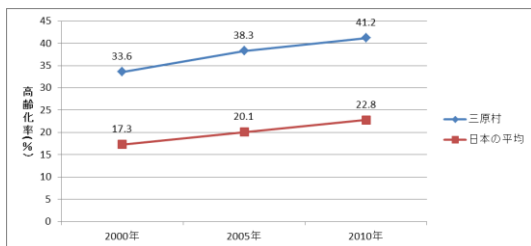


図 2 高齢化率の推移

2.対象地区の概要

2.1対象地区の位置等

高知県三原村下長谷地区

村の役場や小学校などが集まる地区から県道21号線を車で7分いった場所にある。



図 3 三原村



図 4 下長谷地区

2.2対象地区の現状

集会所や公園などのような地域の人が集まれる場所がない。

そのため、子どもの場合は外の自然の中で遊ばず家の中でゲームなどをして過ごしている。

大人の場合は、作業の合間や宴会などに気軽に集まる場所がないため、自分の家の近隣の人のみといった限られた交流となる。また、高齢者などは日中に道端で井戸端会議を楽しんでいるが、夏場は長時間外で話すのは危険なため日が陰るまでは外出をしない状態が見受けられる。

3.対象敷地の概要

対象敷地は、下長谷地区の中でも高い所にあり、地区をある程度見渡すことができる場所である。現在、敷地には私の親戚である 80 代の夫婦が暮らす住宅と畑があり、住宅の西側には約 3.5m の擁壁が建っている。住宅は昔ながらの平屋建てで部屋は多数あるが、夫婦が使っている部分は一部である。そのことから、既存の建物をリノベーションする。



写真 1 既存住宅



写真 2 敷地全体航空写真

4. コンセプト

公民館のように部屋を貸し出すのみではなく、各世代や各グループで活動する中でも他の世代やグループとも交流が図れる空間のある交流施設とする。

また、住居と交流施設といった違う用途の建物が同じ敷地に立っているだけではなく、2つの建物が同じ敷地に存在する価値をつける。

5. 計画

5.1 交流の生まれる空間計画

建物計画は以下の手順で行った。

1) 必要居室を考える

地区の人々にとって必要居室を考え上げる。

表 1 居室用途等

居室名	対象者	想定した活動内容等
多目的スペース①	大人(日中等)	地区の会議や教室など少人数で行う活動で利用
	子ども(夕方、休日)	地区の子どもたちで集まり勉強するために利用
多目的スペース②	高齢者(日中等)	談話や将棋等の卓上ゲームを行うスペースとして利用
	大人(休日等)	宴会や地区の大人数の会議の時に利用
お茶会スペース	大人	農作業の合間などの休憩の際にみんなで集まって利用
共有スペース	全員	地域の玄関となる場であり、それぞれの空間を繋げる場所

2) ゾーニング計画

手順 1) で挙げた居室に必要な調理室等に加え、各世代等での交流が生まれるゾーニングを考えた。

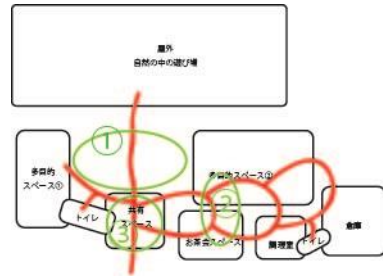


図 5 ゾーニング兼動線

①子ども×高齢者

中庭により視線が合うことで交流が生まれる空間

②高齢者×主婦等

2つの部屋を繋げることでお茶などを一緒に楽しみ交流を生み出す空間

③3世代

出入り祭に挨拶等を行うことで交流が生まれ空間

3) 居室配置

手順 2) より、残す既存建物を決め居室を入れ、残りの居室を新たな建物として配置した。

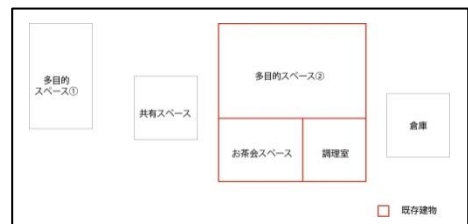


図 6 居室配置

4) 廊下等の配置

廊下やトイレなどの機能が入る部分は四角の箱を傾けて設置する。

四角の箱の高さは既存の梁にあたらぬ高さに抑える。

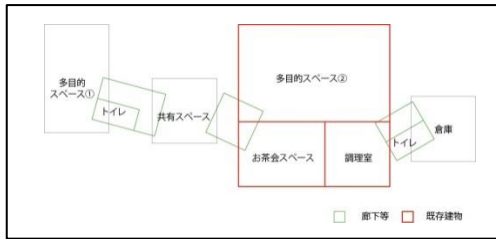


図 7 廊下等配置

5) 住居も同じ手順で行う。

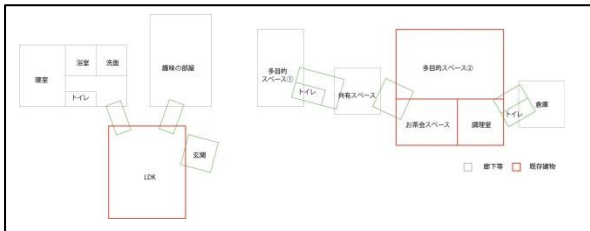


図 8 全体建物配置計画

5.2 交流施設と住居の繋がり計画

交流施設と住居のつながりとして多目的スペース②から住居部分までデッキを伸ばし、つながりを持たせた。また、屋根を交流施設と住居で一体でかける場所を作ることによって外から見た時の繋がりがあるようにした。

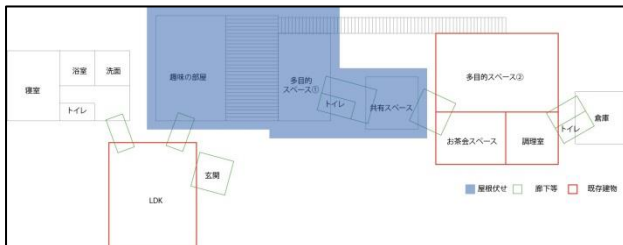


図 9 屋根伏せとデッキ

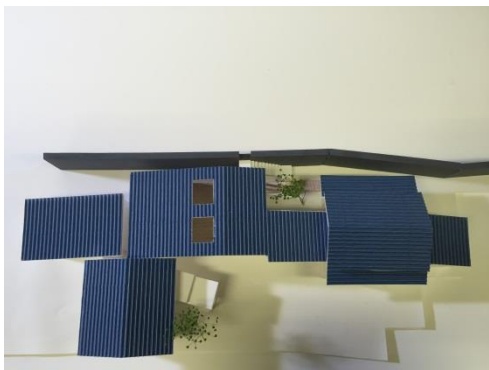


写真 3 屋根模型写真

6. 主要図面

6.1 既存住宅図面

下記の平図面 (図 11) は実測調査した図面である。



図 10 敷地周辺と既存住宅屋根伏図



図 11 既存平面図

6.2提案図面

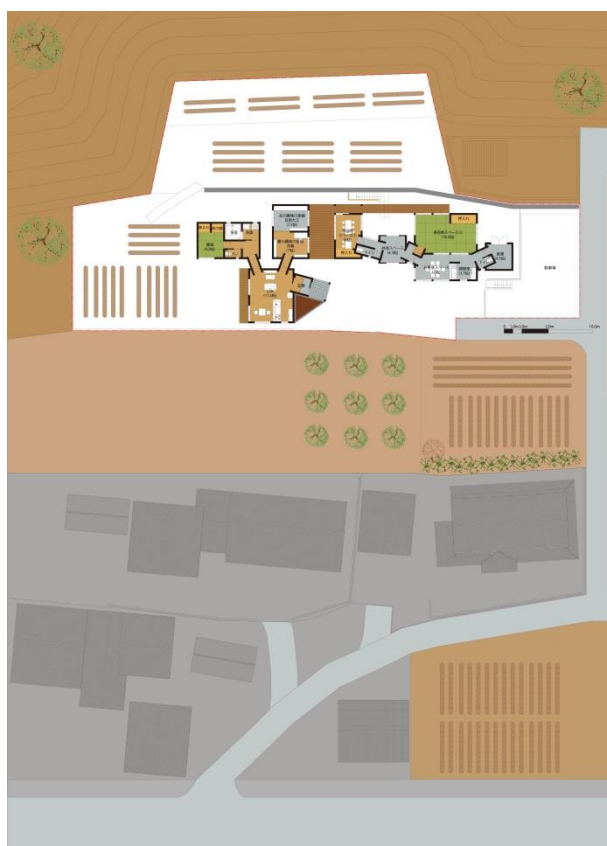


図 12 配置図兼提案平面図



図 13 ロフト部分平面図



図 14 立面図

7.模型写真



写真 4 正面



写真 5 デッキ部分



写真 6 作業部屋と多目的スペース①の間